

国会議事堂の インテリア ファブリック

近代建築を彩る織物

Interior Fabrics of the
National Diet Building
Textiles for Modern Architecture

2026 9.15^{tue} — 2027 2.01^{mon}

川島織物文化館
KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

京都市左京区
Kyoto

建築に寄り添い、格を語るファブリック。

高度経済成長期を経て、合成繊維の普及やビニールクロスの台頭により内装材が大きく変化する以前、近代建築の空間は、絹織物による内装仕上げが多くみられました。昭和11(1936)年に、日本の近代建築・美術工芸の粋を集めて建設された国会議事堂も、その格式ある空間には、最高峰の技術で作られたインテリアファブリック(織物)が用いられました。

「国会議事堂のインテリアファブリック ― 近代建築を彩る織物 ―」展では、竣工90周年を迎えた国会議事堂の内装ファブリックに着目し、川島織物セルコンが所蔵する織物見本やデザイン案(図案)を公開します。

国会議事堂で現在、使用されている、カーテンや壁張地などの織物見本、平成初期の改修時に一部を受け継ぎ、これまで一般に公開することのなかった実物のカーテン、御休所を彩る内装ファブリックの制作資料など、約50点を展示。

近代建築を支えたインテリアファブリックの意匠や技術、時を重ねることで深まる織物ならではの魅力をぜひご覧ください。



衆議院議場 御座所 カーテン 1931年頃
1999年まで使用

国会議事堂の インテリアファブリック

― 近代建築を彩る織物 ―

開催期間 2026年9月15日(火)～2027年2月1日(月)
開館時間 10時00分～16時30分(入館は16時まで)
休館日 土・日・祝祭日、夏期、年末年始
(川島織物セルコン休業日)
入館料 無料(入館には事前にご予約が必要です)
主催 川島織物文化館
協力 衆議院、参議院

※展示内容は事前の予告なく変更する場合があります。
※臨時休業をする場合があります。事前にWebサイトでご確認下さい。



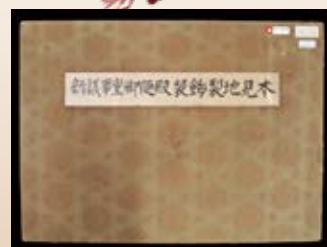
御休所 上壁張地 小下
絵(部分) 1930年頃



御休所 上壁張地
試織 1931年頃



参議院議場 傍聴席 カーテン地 2011年



新議事堂御便殿装飾裂地見本 1936年

川島織物文化館 KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265
TEL : 075-741-4120

■ アクセス

- 電車・バス
- ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より
京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分
 - ・叡山電車「市原駅」下車 徒歩約7分
- お車
- ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 約15分
 - ・京阪電車「出町柳駅」より 約25分
 - ・京都駅より 約40分

見学は事前にご予約が必要です



川島織物文化館Web



見学ご予約



株式会社川島織物セルコン